# 適正水準の維持に努めています

職員給与 定員管理のあらまし

市では、定期的に市職員の給与・定員管理の状況を市民のみなさんにお伝えしています。今回は今年3月31日、4月1日現在の状況についてお知らせします。

## 職員給与

問職員課(内332)

市職員の給与の概要については年2回、市民のみなさんに公表しています(表1～9)。

地方公務員の給与は、地方公務員法の趣旨に沿った給与制度として、各自治体が条例で定めています。制度の内容は、民間企業や国家公務員の給料との均衡が図られ、適正な給与水準を維持すべきものとされています。

また、職員給与はみなさんの税金によって賄われています。これを公表することで透明度を高め、さらに、議会での活発な議論により市民のみなさんの理解をいただけるものと考えています。

### 〈表1〉人件費の状況

| 区分 | 住民基本台帳人口 | 歳出額(A) | 実質収支 | 人件費(B) | 人件費率(B/A) | 前年度の人件費率 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 11年度 | 115,970人 | 31,242,108千円 | 1,191,175千円 | 7,660,087千円 | 24.5% | 26.9% |

※人件費には、特別職に支給される給料、報酬などを含みます。※住民基本台帳人口は平成12年3月31日現在です。

### 〈表2〉職員給与費の状況(普通会計決算)

| 区分 | 職員数(A) | 給与費 | | | | 1人あたり給与費(B/A) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 給料 | 職員手当 | 期末手当・勤勉手当 | 計(B) | |
| 12年度 | 814人 | 3,410,759千円 | 1,084,954千円 | 1,700,451千円 | 6,196,164千円 | 7,612千円 |

※職員手当には、退職手当は含みません。

### 〈表3〉職員の平均給料月額及び平均年齢の状況

(12年4月1日現在)

| 区分 | 一般行政職 | | 技能労務職 | | 消防職 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 平均給料月額 | 平均年齢 | 平均給料月額 | 平均年齢 | 平均給料月額 | 平均年齢 |
| 海老名市 | 366,371円 | 41.6歳 | 300,765円 | 45.4歳 | 341,913円 | 37.9歳 |
| 国 | 326,106円 | 39.9歳 | 289,315円 | 47.9歳 | 345,871円 | 41.3歳 |

※国の消防職の欄の数値は、公安職のものです。

### 〈表4〉職員の初任給の状況

(12年4月1日現在)

| 区分 | | 海老名市 | | 国 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 初任給 | 採用2年経過日給料額 | 初任給 | 採用2年経過日給料額 |
| 一般行政職 | 大学卒 | 184,200円 | 207,800円 | Ⅰ種184,200円<br>Ⅱ種174,200円 | Ⅰ種203,800円<br>Ⅱ種188,900円 |
| | 高校卒 | 151,800円 | 163,800円 | 141,700円 | 151,800円 |

### 〈表5〉職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況

(12年4月1日現在)

| 区分 | | 経験年数10年 | 経験年数15年 | 経験年数20年 |
|---|---|---|---|---|
| 一般行政職 | 大学卒 | 297,600円 | 343,200円 | 378,100円 |
| | 高校卒 | 242,000円 | 297,600円 | 343,200円 |
| 技能労務職 | 高校卒 | 235,600円 | 249,700円 | 332,500円 |

### 〈表6〉一般行政職の級別職員数の状況

(12年4月1日現在)

| 区分 | | 1級 | 2級 | 3級 | 4級 | 5級 | 6級 | 7級 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 標準的な職務内容 | | 主事補・技師補 | 主事・技師 | 主任主事・主任技師 | 係長・主査 | 副主幹 | 課長・主幹・副参与 | 部長・参事・参与 | ——— |
| 職員数 | | 10人 | 112人 | 96人 | 93人 | 72人 | 66人 | 46人 | 495人 |
| 構成比 | | 2.0% | 22.6% | 19.4% | 18.8% | 14.6% | 13.3% | 9.3% | 100% |
| 参考 | 前年の構成比 | 3.5% | 26.3% | 18.4% | 18.0% | 13.4% | 11.9% | 8.5% | 100% |
| | 5年前の構成比 | 11.9% | 26.0% | 21.0% | 18.3% | 7.8% | 10.5% | 4.5% | 100% |

### 〈表7〉昇給期間短縮の状況

| 区分 | | 全職員 | 一般行政職 | 消防職 |
|---|---|---|---|---|
| 11年度 | 職員数(A) | 862人 | 535人 | 137人 |
| | 普通昇給期間(12～24月)を短縮して昇給した職員数(B) | 11人 | 11人 | 0人 |
| | 比率(B/A) | 1.3% | 2.1% | 0.0% |
| 10年度 | 職員数(A) | 881人 | 552人 | 136人 |
| | 普通昇給期間(12～24月)を短縮して昇給した職員数(B) | 11人 | 5人 | 4人 |
| | 比率(B/A) | 1.2% | 0.9% | 2.9% |

※国、県は15%の範囲内を基準に行っています

### 〈表8〉特別職の報酬等の状況

(12年4月1日現在)

| 区分 | | 給料月額等 |
|---|---|---|
| 給料 | 市長<br>助役<br>収入役 | 930,000円<br>746,000円<br>700,000円 |
| 報酬 | 議長<br>副議長<br>議員 | 536,000円<br>451,000円<br>422,000円 |
| 期末手当 | 市長 助役<br>収入役 議長<br>副議長 議員 | (11年度支給割合)<br>6月期 2.2月<br>12月期 2.5月<br>3月期 0.2月 |

### 〈表9〉職員手当の状況

| 区分 | | 海老名市 | | 国 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 期末手当・勤勉手当 | 支給期 | 期末手当 | 勤勉手当 | 期末手当 | 勤勉手当 |
| | 11年6月期 | 1.6月 | 0.6月 | 1.6月 | 0.6月 |
| | 11年12月期 | 1.9月 | 0.6月 | 1.65月 | 0.6月 |
| | 12年3月期 | 0.25月 | ——— | 0.5月 | ——— |
| | 計 | 3.75月 | 1.2月 | 3.75月 | 1.2月 |
| | 役職加算措置 | 有 | | 有 | |

| 区分 | | 海老名市 | | 国 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 退職手当 | 支給率 | 自己都合 | 勧奨・定年 | 自己都合 | 勧奨・定年 |
| | 勤続20年 | 21.0月分 | 28.875月分 | 21.0月分 | 28.875月分 |
| | 勤続25年 | 33.75月分 | 44.55月分 | 33.75月分 | 44.55月分 |
| | 勤続35年 | 47.5月分 | 62.7月分 | 47.5月分 | 62.7月分 |
| | 最高限度額 | 60.0月分 | 62.7月分 | 60.0月分 | 62.7月分 |
| | その他の加算措置 | 定年前早期退職特例措置(1～10%加算) | | 定年前早期退職特例措置(2～20%加算) | |
| | 退職時特別昇給 | 制度なし | 1～2号給 | 1号俸 | |
| | 1人当たり平均支給額 | 9,659千円 | 19,798千円 | ——— | |

※退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に退職した全職種に係る職員に支給された平均額です。

| 区分 | | 海老名市 | 神奈川県 | 国 |
|---|---|---|---|---|
| (12年4月1日現在)調整手当 | 支給対象地域 | 全地域 | 全地域10% | 県内の国の支給率<br>横浜市ほか3市……10%<br>葉山町……6%<br>海老名市ほか8市……3%<br>茅ヶ崎市ほか22市町村……0% |
| | 支給率 | 10% | | |
| | 支給対象職員 | 862人 | | |
| | 支給対象職員1人当たりの平均支給月額(11年度決算) | 37,179円 | | |

| 区分 | | 全職種 |
|---|---|---|
| 特殊勤務手当(11年度) | 職員全体に占める手当支給職員の割合 | 32.9% |
| | 支給対象職員1人当たり平均支給月額 | 3,422円 |
| | 手当の種類(手当数) | 10種 |
| | 代表的な手当の名称(額・人員の多いもの) | 徴収手当・清掃手当・消防手当 |

| 区分 | | | |
|---|---|---|---|
| 時間外勤務手当 | 11年度 | 支給総額 | 304,727千円 |
| | | 1人当たり支給年額 | 346千円 |
| | 10年度 | 支給総額 | 277,980千円 |
| | | 1人当たり支給年額 | 314千円 |

| 区分 | | 海老名市 | 国 |
|---|---|---|---|
| 扶養手当 | 配偶者 | 17,000円 | 16,000円 |
| | 配偶者以外の扶養親族2人まで | 6,500円 | 5,500円 |
| | 配偶者のない扶養親族のうち1人 | 11,500円 | 11,000円 |
| | その他の扶養親族 | 2,000円 | 2,000円 |
| | 満16歳の年度初めから満22歳の年度末までの子 | 1人につき5,000円を加算 | 1人につき5,000円を加算 |
| | 扶養親族でない配偶者がある場合の1人目の扶養親族 | 1,000円を加算 | 1,000円を加算 |
| 住居手当 | | 30,000円を限度 | 27,000円を限度 |
| 通勤手当 | | 50,000円を限度(片道2km未満を除く) | 50,000円を限度(片道2km未満を除く) |

## 定員管理

問行政改革課(内316)

定数管理については「最小の経費で最大の効果」を基本に、事務量と要員を的確に把握して、簡素で効率的な執行体制を確立することに努めています(表10)。

また、市第三次行政改革大綱推進計画に基づいて、今年度から5年間で消防職員を除く職員定数(758人)の5%(38人)を削減する目標を定めて、定員管理の適正化に取り組んでいます。

定員管理の方法としては、①総合計画の実施計画を見直す時に、事務事業についてのヒアリング・内容を分析　②他の自治体の職員数や、定員モデル試算値などとの比較・分析　③人員増が必要な業務には、民間委託、事務事業の見直しなどで事務が削減された部門の職員を配置転換して職員数を抑制ーなどを実施しています。

### 〈表10〉部門別職員数の状況

(各年4月1日現在)

| | | 職員数 平成11年 | 職員数 平成12年 | 対前年増減数 | 主な増減理由 |
|---|---|---|---|---|---|
| 一般行政部門 | 議会 | 8 | 8 | 0 | |
| | 総務 | 170 | 161 | △9 | 事務事業の見直し等 |
| | 税務 | 47 | 46 | △1 | 税務事務の見直し等 |
| | 民生 | 110 | 111 | 1 | 介護保険対応等 |
| | 衛生 | 93 | 90 | △3 | ごみ・し尿収集体制見直しによる不補充 |
| | 農林水産 | 13 | 14 | 1 | 調整 |
| | 商工 | 7 | 6 | △1 | 事務事業の見直し等 |
| | 土木 | 103 | 99 | △4 | 土木事務の見直し等 |
| | 小計 | 551 | 535 | △16 | |
| 特別行政部門 | 教育 | 154 | 149 | △5 | 調理業務等見直し |
| | 消防 | 136 | 137 | 1 | 消防力基準の充足 |
| | 小計 | 290 | 286 | △4 | |
| 公営企業等会計部門 | 下水道 | 26 | 26 | 0 | |
| | 国民健康保険等 | 15 | 16 | 1 | 国保事業の充実 |
| | 小計 | 41 | 42 | 1 | |
| 合計 | | 882 | 863 | △19 | |

(注)職員数は一般職に属する職員数であり、地方公務員の身分を保有する休職者、派遣職員などを含み、臨時又は非常勤職員を除いています。

## 緑化ポスター 緑の写真館 入賞者決まる

問公園緑地課(内624)

第14回海老名市緑化ポスターコンクール、第12回緑の写真館(主催はいずれも市緑化推進協議会＝会長・諏訪仁)の審査会がこのほど行われ、次のとおり入賞者が決まりました。表彰式は、12月22日(金)に市役所で行われます。(敬称略)

◀山口舞子さん

▼小林　茜さん

▼伊與田千穂さん

市長賞4点

▶蓮見寛人さん

### ◎緑化ポスター

「緑を守る・つくる・育てる」をテーマに市内の小・中学生から募集したところ、891点の応募があり、市長賞など44点が入賞しました。

**○市長賞**(4点)　▽小学生低学年の部　山口舞子(有馬1年)　▽小学生中学年の部　小林茜(杉久保4年)　▽小学生高学年の部　蓮見寛人(杉本5年)　▽中学生の部　伊與田千恵(海老名1年)　**○議長賞**(4点)　▽小学生低学年の部　岩本翼(社家2年)　▽小学生中学年の部　鈴木奈緒(杉本3年)　▽小学生高学年の部　安田葉(杉本6年)　▽中学生の部　門田昇憲(海西3年)　**○優秀賞**(9点)　▽小学生の部　後藤尚平(今泉1年)、田沢友美(海老名2年)、山口あかり(上星3年)、原正明(大谷4年)、下川床未来(今泉5年)、中村まなみ(杉本6年)　▽中学生の部　岡野麻奈美(柏ケ谷1年)、森岡優(海老名2年)、池田麻穂(海西3年)　**○優良賞**(27点)　▽小学生の部　山中真理子(有馬1年)、福田夏美(杉久保1年)、鈴木里菜(杉本1年)、山口愛実(有鹿2年)、諏訪智也(大谷2年)、小林梓(杉久保2年)、井ノ川直樹(大谷3年)、能登愛(同3年)、寺田愛(杉本3年)、谷島基記(大谷4年)、井上悠紀(杉久保4年)、黒川大司(杉本4年)、高木祐介(大谷5年)、角田麻美(上星5年)、坂田亜紗美(今泉5年)、前田雅俊(大谷6年)、森愛実(上星6年)　▽中学生の部　竹下恵梨(海老名1年)、河岸朋美(柏ケ谷1年)、黒川亜莉沙(同1年)、野崎有沙(有馬2年)、前田琴(大谷2年)、篠田知依(今泉2年)、金塚知子(海老名3年)、赤崎創(海西3年)、河岸尚美(柏ケ谷3年)。

### ◎緑の写真館

「緑とふれあい」をテーマに募集したところ96点の応募があり、市長賞など13点が決まりました。

**○市長賞**　嶋田和人(上今泉)

▶市長賞・嶋田和人さん

**○議長賞**　小島トシ子(国分北)　**○金賞**　小野田春美(柏ケ谷)　**○銀賞**　荻原利雄(東柏ケ谷)、奥村博史(社家)　**○銅賞**　小栗京子(国分寺台)、小野田留蔵(柏ケ谷)、横山征(浜田町)　**○佳作**　金山ミヤ子(上今泉)、加藤眞一(国分北)、神谷康夫(下今泉)、細川政太郎(上今泉)、阿部三男治(浜田町)。

## まちかどニュース

### 高齢者野球チーム 中学生と交流試合

11月18日、市内の高齢者野球チーム「海老名クラブ」(坂本孝行監督・45人)が、有馬中学校野球部と交流試合を行いました。坂本監督は「こういう試合を通じて中学生たちに何か伝わるものがあればいいなと思って始めました。私たちも孫のような年齢のチームと対戦して気持ちが若返り、とても楽しかった。これからも続けていきたいですね」と語ってくれました。

### ●第8分団に最新ポンプ車

配備されたポンプ車

11月5日、市消防団第8分団(柏ケ谷・東柏ケ谷1～6丁目)に最新型消防ポンプ自動車が配備されました。ホースカーの積載によりホースの運び出しがよりスムーズにできるなどの特長を持ち、機動力の一層の向上に役立っています。

問消防総務課(☎231・0355)。